

旧街道ウォーク347★古代東海道[35] [古代東海道 2008-09 その 14] 「竜ヶ崎～江戸崎」活動報告

【日 時】2009年5月31日（日）10:40～15:20 曇り

【コース】竜ヶ崎駅～(バス)～上大徳 → 戸張 → 八代町〈昼食休憩〉→ 半田町（榛谷駅推定地）→ 塗戸町
→ 上君山 → ポティロンの森（歩行 11km）

【参加者】○梶川義実、大竹亮、片桐拓朗、加藤栄子、児山文一、高梨健一、寺村映、長澤純一、長谷川万里子、平野隆、矢部公大、山根純一（12名）（○は主催者）

【概況説明】

この日は少し暑く、曇り空でした。竜ヶ崎駅から路線バスに乗って砂町で降り、前回終着地の上大徳から歩き始めました。前回の続きの道は、まっすぐ北へ延びる主要道で、しばらく進んだ後、八代町で旧道に入ります。この先、農家の生垣が続く旧道を行き、途中で昼食休憩をとりました。半田町では、田圃の先の「古代榛谷駅推定地」を遠くに望み、稲敷市との市境で北へ曲がりました。ここから、竹林の間の旧道(市境)を登り丘陵の上に出ます。さらに1本道を下り、小野川沿いの田圃+麦畑の中を進み、上君山地区へ。再び森の中を行く旧道を進み、カボチャ畑の脇を抜けて、旧江戸崎町のポティロンの森(農業公園)へ到達しました。今回はここが終点で、特産品のおみやげを購入した後、牛久駅までの長いタクシー道中で帰路につきました。

【評価結果】

古代官道らしさについては、平地と小さい丘が混在し直線性もあまりはっきりしない部分がありましたが、森の中の旧道があったため、ほぼ平均的な評価となりました。沿道風景については、沿道農家の生垣や立派な建物、田圃の風景を挙げた人が多く、高い評価となりました。沿道の史跡については、古代史跡がほとんど見られなかったため、低い評価となっています。案内表示についても、古道、歴史ともほとんどなく、低い評価となりました。古道を活かしたまちづくりの方向については、地域の直面する課題が指摘されました。印象に残ったものとして、八代町から半田町の農家、林の中の旧道を多くの人が挙げています。全体を通じての評価点は4.20で、かなり高い評価が得られました。



龍ヶ崎市半田町の旧家



稲敷市江戸崎町上君山の旧道

【参加者の評価結果】

1◆全体を歩いた感想 評価点：4.20 内訳：AAAAAABBBB

A：コースは古代東海道らしき雰囲気があり、非常に良かったです。

A：古道らしい雰囲気のある道路だった。丘陵部を短く越えている点や市境の道路など、古代官道の要件を満たしていた。

A：直達性や史跡はやや乏しかったが、沿道風景の美しさがとても素晴らしかった。見渡す限りの広大な田園風景に、低湿地を島唄いに横切って一路国府を目指したかつての古代駅路を幻視するようだった。

A：基本的には田圃や畑の農村風景だったが、丘をいくつか越えたことが意外だった。もっと平坦地が続くイメージだったが。

A：水田、街並み、里山と変化が楽しめました。

A：景色を楽しみながら歩けた。

B：全体としてはBとしましたが、切り通しの道はAでした。

B：車の幹線道路からはずれた静かな道が多く、三箇所にわたり古代道路を思わせる緑陰の素敵な古道もあり、歩きやすかった。

B：平地あり、坂道ありで変化がありました。

B：前回の柏より楽でした。ひたすら自然の中を歩く感じもしましたが、滅多に見なくなった畑などを見ることができたりして、また違った楽しみ方をさせていただきました。

2◆特に魅力的だったところ

○上大徳の旧家：商店街の外れに美しい石造りの蔵が佇んでいた。

○大徳からの真直ぐな道：明治時代の地図でも真っ直ぐでした。後で思ったのですが、突き当たって右に曲がったのですが、最初から斜めに行けば距離が短いのですが。なぜ真っ直ぐ行く必要があったのか。突き当たりの集落に寄る必要があったとか、右側は通れなかったとか。

○八代町～半田町：古道に沿って、立派な生垣や蔵のある豪壮な屋敷構えの農家が続き、圧倒された。

○農家：立派な家屋、蔵、手入れの行き届いた庭木、またそれぞれの家の塀一面の田んぼの緑、麦秋の金色が美しかった。

○多くの家の生垣：大きな木の枝葉が四角に切られていたりして美しい。

○半田町の農家：各家とも立派で、それが何軒も続くのが見事。

○半田町の古仏：橋のたもとに佇んでいて、風情があって良い。

○塗戸町の旧道：昼なお暗い林の中を抜ける素晴らしい道。

○龍ヶ崎市と稲敷市の境の古道：竹林の中をゆく昼なお暗き道。

○龍ヶ崎市と稲敷市の境の古道：竹林の中を良い雰囲気で抜けている。

○龍ヶ崎市と稲敷市の市境、小野川の手前、上君山に上る道：古代道路を思わせる緑陰の素敵な古道。

○龍ヶ崎と稲敷市境と上君山の山道：鬱蒼と茂る木立で昼なお暗い道は雰囲気がありましたし、それを抜けたときの開放感のギャップが印象的でした

○龍ヶ崎、江戸崎それぞれの古道の中。

○古代官道を彷彿させる切り通しの道（2か所）：特に後半の方の道は良かったです。

○醤油醸造所前からの切り通し：鎌倉の円覚寺の近くの切り通しを思い出しました。少し狭い気もしましたが。周りは鬱蒼たる林でしたが、当時は、木はあっても小さく明るかったのでしょうか。メンテもしていたのでしょうか。

○何と言っても昼なお暗き道と田園風景の美しさです。

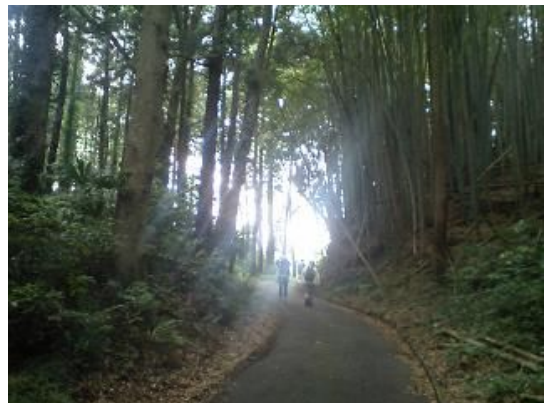
○切り通しを抜けて流通経済大学のサッカー場の横に出た所、畑の入口に町？の境界の杭があり、向こう側の道路にも杭がありました。明治の地図にも境界線の線が記入されていましたが、道の線はありませんでした(五万分の一)。

○小野川へ下る道：広大な田園風景が徐々に眼下に開けて来る展開が感動的だった。

○小野川沿いの田圃：見渡す限りの田圃と麦畑、遠くの丘の森・・・心が洗われる風景であった。



龍ヶ崎市八代町の立派な農家



龍ヶ崎・稲敷市境の推定古代東海道

○小野川手前の麦畑：左手に色づいた麦畑の茶色、右に田植えを終えた田の緑色の平面が広がり、見事なコントラストだった。

○小野川を渡っていたら牛久観音像が突然現れた。

○芋薬師からの古道：直線で林の間を抜けており、快適だった。

○上君山の旧道：昼なお暗い森の中に一筋の道が続き、いったん日だまりに出て、また森に入る。なんとも素晴らしい道。

○森の中：気持ちがよかった。

○ポティロンの森：来たのは3回目だが、まだ一度も入園していない。楽しそうな所ではあるのだが・・・。

3◆古代官道らしさ（直達性、短絡性、古代史跡等） 評価点：3.22 内訳：AABBBBBBC

A：直線的なことや古代榛谷駅比定地の広がりなど、古代官道らしさが感じられました。

A：丘陵部を短く越えている点や市境の道路など、古代官道の要件を満たしていた。

B：古代史跡がなかったのが難点だが、竜ヶ崎市上大徳から中八千代までの見事に真っ直ぐな道、竜ヶ崎市と稲敷市との市境の道とそれを含む三箇所の緑陰の素敵な古道に、それなりに古代官道らしさを感じた。

B：平地と細い台地が交錯したためか、全体としての直線性があまり感じられなかったし、古代史跡も乏しかった。しかし、広大な田園風景に、低湿地を島伝いに横切ったかつての駅路を想像できた。

B：部分的には直線道であったが、全体で見るとそうでもない。ただし、明らかに古道の区間もあり、良かった。

B：古道や街道では無いそうですが、麦畑。

C：感じなかった。所々に石仏があったが、江戸時代以降かと思う。



市境を小野川の低地へ下る推定古代東海道



小野川の田園地帯を横切る推定古代東海道

4◆沿道風景の魅力 評価点：4.25 内訳：AAAAABBB

A：見渡す限りの田園風景、立派な蔵や生垣のある農家の屋敷構え、そして林の中の道筋など、とても美しい風景が続いていた。

A：前回、布川や布施を歩いた時も思いましたが、立派な民家が多いですね。特に今回は屋根瓦（棟瓦の先端部分、鬼瓦というんでしたっけ？）に特徴があったと思います。

A：八代町～半田町あたりのお屋敷：軒を競う様な見応えのある住宅と生垣がきれいでした。

A：水を張った田園が美しかった。また、黄金色の麦畑と植えたばかりの緑の水田が混在している場所も美しい。

A：竹林のなかのをゆく道路は、古代を彷彿とさせる。

B：3箇所にわたる古代道路を思わせる緑陰の素敵な古道、小野川手前の麦畑の茶色、田植えを終えた田の緑色の見事なコントラストなど魅力的な風景があった。

B：非常に立派な門構えの家々や広大な田園風景が良かった。

B：田園の道からの苗の景色は良かったのですが、昔は必ずしも良田でなく、湿地に盛り土などした部分もあるのでしょうか。

ー：四角形に剪定された大木。農家の美しい塀が続いた一角。

5◆古道にふさわしい史跡 評価点：1.86 内訳：BBBCCCC

B：鷲宮神社などいくつか見かけたが、印象は乏しい。古代榛谷駅比定地付近にも、それらしき痕跡は少なかった。
B：半田町（古代榛谷駅比定地）～塗戸町～上君山（信太郡衙隣接地）などがあるとされているが、明快な史跡はなかった。

C：鷲宮神社など。

C：寺社が少なく道標も多くはなかった。

C：ほとんど見当たらなかった。榛谷（はんがや）駅比定地といわれても田があるだけだし・・・。

C：史跡はほとんどなかったですね。

6◆沿道の古道や歴史の案内表示 評価点：1.25 内訳：BCCCDDDD

C：史跡同様ほとんどなかったのでは。

C：古道に関するものも、史跡に関するものも、あまり見かけなかった。

C：歴史も含めて案内表示は少なかった。

D：何もなかったように思う。

D：全くなかった。

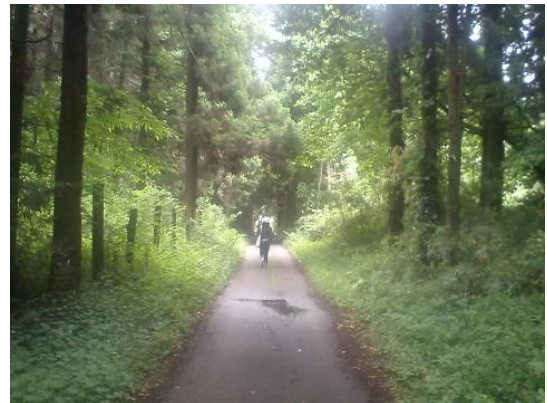
7◆古道を活用したまちづくりの方向

○古道というよりも、龍ヶ崎市街の再生が急務。このままでは、商店街はシャッター街となり、農村部は後継者難で耕作放棄、ニュータウンもいずれは高齢化する。商店街の歴史伝統、農村部の美しい田園風景、そして計画的なニュータウンという特質をうまく生かして、龍ヶ崎らしい地域性を再構築し、居住者のアイデンティティ形成を図る必要があるのでは？ その中で、古道歩きも一役買うことができそうである。

○歩きやすい快適な道が多いので、これを生かしたいところだが、何せバス等の交通機関が先の方で皆無では、難しいかもしれない。



龍ヶ崎市長峰町の鷲宮神社



稲敷市江戸崎町上君山の推定古代東海道

8◆その他、今回の企画や気づいた点など

○はるか遠くまで来た、という感じです。広大な田園地帯が広がり、生垣や蔵の美しい立派な屋敷構えの農家が続きました。これぞ茨城！素晴らしい風景です。ポティロンの森には9年ぶりに来ましたが、健在で安心しました。梶川さん、調査するだけでも大変な地域での充実した企画をありがとうございました。（R. O）

○お天気が微妙でしたが、カンカン照りよりは良かったです。街道沿いは農家が多いのかと今更感じました。段々足が慣れてきたので（気のせいかもしれませんが）また参加できたらしたいです。ちょっとした処に隠しアイテムの様な場所（ニュータウンの外れ）の様な場所があって面白かったです。マンホールが豪華です。マンホール写真集のh pには載っていませんでしたが多分、筑波山、キキョウ、白鳥、松（市の花、鳥、木）です。（M. H）

○主催者の皆様お疲れ様でした。終点のポティロンの森に着いた途端に大粒の雨が降って来てびっくり。天気には恵まれましたね！（J. Y）

○天候が悪い方向に向かっていく中で、決行の決断、夕方の雨を予想しての急ぎ足等、主催者の適切な行動計画のおかげで、歩き終えるのを待っていたかのように絶妙なタイミングで激しい雨が降ってきて、奇跡的なものを感じた。(J. N)

○町はずれでもあり、このような活動がなければまず歩かない地域であった。(そもそも足を踏み入れないであろう) 天気は偶然ではあるが、しかし到着まで全く雨に降られなかったのは、ミラクルである。これで、ポティロンの森まで到達したので、私はこの先は気楽に歩けます。(T. K)

○2か所あった切り通しの道、良かったです。ただ、流经大のグラウンド造成で片側切り取られてしまったところが残念ですね。(T. H)

○何故あのような立派な屋敷が連続しているのか不思議です。放置されている建物もあり、対照的な風景です。(A. T)

◆主催者より 集合も終了地点も不便な場所であるにもかかわらず、多数の皆様に参加いただき有り難うございました。天候が心配されましたが、善男善女の集まりのせい、終点に着いたとたんに雨が降るという幸運に恵まれました。ヒバリ、ヨシキリ、ホトトギスなど、いろいろな鳥の声を聞いたことも、良かったと思います。次回は、7月5日(日)牛久駅10時集合です。是非、ご参加下さい。(梶川義実)



龍ヶ崎市塗戸町付近の旧道にて



稲敷市江戸崎町／ポティロンの森